

第138回
沖縄地方交通審議会
船員部会 議事録

令和2年6月18日（木）

沖縄総合事務局

第138回沖縄地方交通審議会船員部会

日 時 令和2年6月18日（木）11時00分
場 所 沖縄総合事務局 5F 海技試験室

出席者：

公益委員 宮里委員、赤嶺委員、豊川委員、大城委員
労働者委員 柴田委員、屋比久委員
使用者委員 宮城委員、山内委員、桃原委員

沖縄総合事務局 宮良調整官、比嘉課長、
玉城補佐、安慶田係長

議事次第

○開 会

○議 事

1. 管内の雇用状況について
2. 意見交換

○閉 会

（配付資料）

1. 船員職業紹介実績等一覧表（令和2年5月分）

宮里部会長

定刻でございますので、第138回船員部会をはじめさせていただきます。

本日の委員の出席状況と配付資料の確認を事務局よりお願いします。

事務局（安慶田係長）

本日の出席状況ですが、公益委員4名、労働者委員2名、使用者委員3名が出席されており、船員部会運営規則第9条の規定により定足数を満たし、有効に成立していることを御報告いたします。

今回から新型コロナウィルス感染症対策のため密にならないよう、席次を変えておりますので御了承ください。

なお、4月の人事異動で事務局の職員に変更がありましたので、自己紹介をさせて頂きます。はじめに比嘉課長から自己紹介をお願いします。

事務局（比嘉課長）

初めまして。4月1日付で屋良の後任になりました、比嘉と申します。よろしくお願いします。3月までは、海事保安・事故対策調整官において、外航船舶の保険や油の流出事故関係の仕事をしておりました。1年間よろしくお願いします。

事務局（安慶田係長）

続きまして船舶船員課玉城課長補佐自己紹介をお願いします。

事務局（玉城補佐）

新城の後任になります、課長補佐の玉城と申します。3月までは船舶ラインの課長補佐をやっておりました。船員部門関係についてはあまり知らないところもありますので、皆様、よろしくお願いします。

事務局（安慶田係長）

最後に4月1日付けで労政・職業安定係になりました安慶田と申します。海事行政は10年ぶりとなります。3月までは、バス・タクシーの許認可業務をやっておりました。今後御迷惑かけるかもしれません、どうぞよろしくお願いいたします。

続きまして、配付資料の確認をさせていただきます。

（配付資料の確認）

宮里部会長

それでは、議事1の「管内の雇用状況」につきまして、事務局に説明をお願いします。

質問は、最後に受け付けたいと思います。

事務局（玉城補佐）

令和2年5月分の管内雇用状況等の概要について御報告いたします。

●求人状況について

新規求人数は8件でした。前月に比べ2件増加、また、前年同月に比べ4件減少となっております。

月間有効求人数は17件でした。前月に比べ5件減少、また前年同月に比べ2件増加となっております。

月間有効求人数の内訳は、商船等16件、漁船1件となっております。

月末未済求人数は8件でした。

●求職状況について

新規求職数は6名でした。前月に比べ1名減少、また、前年同月に比べ1名減少となっております。

新規求職数の内訳は、商船等6名、漁船0名となっております。

●新規求職者の退職理由又は求職理由別内訳について

5月の新規求職者6名のうち離職者5名の退職理由は、船舶所有者等都合3名、自己都合2名、離職以外の方1名の求職理由は、就業中に転職を希望するもの1名となっております。

新規求職者が所属していた会社所在地は、管内が5名、管外が1名となっております。

月間有効求職数は19名でした。前月に比べ7名減少、また、前年同月に比べ1名減少となっております。

月間有効求職数の内訳は、商船等18名、漁船1名となっております。

月末未済求職数は14名でした。

●成立状況について

5月は1件でした。

●求人倍率について

5月の月間有効求人倍率は、0.89倍でした。前月に比べ0.04ポイント増加、また、前年同月に比べ0.14ポイント増加となっております。

●失業等給付支給内訳について

基本手当受給者実人員は3名、支給延べ件数は3件で、基本手当支給金額は428,626円でした。

その他再就職手当の支給があり、再就職手当の支給額は992,565円でした。

総支給額は1,421,191円でした。

以上、管内雇用状況等の概要説明を終わります。

宮里部会長

はい、ありがとうございました。では、ただいまの説明について何か御質問ありますでしょうか。

質問が特にないようですので、議事2の「意見交換」に移りたいと思います。何かございますか。

資料を見ると、コロナの影響はあんまり関係ないですね。

事務局（安慶田係長）

陸上とは違って、特には海のほうはあまり影響がなかったのかなというふうに感じられました。

宮里部会長

他にはどうでしょうか。

宮城委員

当社の場合、4月、5月、18パーセントの売り上げが落ちています。それがいつまでどの程度影響があるか、今のところ予測が難しい。

いつまで続くか分からぬし、どれだけ影響があるか。もう少し経たないと、現時点では分からない。

山内委員

水産関係は、3月、4月、直撃を受けたと言ってもいいぐらいでした。県外出荷がほぼ止まり、相場が伸びず売り上げが減少した。

宮里部会長

泊いゆまちに行ってもマグロがとても安くなっていて、がらんとしていていました。

山内委員

5月のゴールデンウィークのときに、同じ問題を抱えていた農協さんと連携して、何とか飛行機を飛ばしてくれと要請し、県外出荷が出来るようになった。それで少しほは持ち直したけれども、3月、4月は全然駄目でした。

第2波、第3波がいつ来るのか、どのような形になるのか、それによってどれだけの影響があるのかは分からない。

宮里部会長

久米島の久米商船は、旅行者がほとんどいなかつたのですか。

桃原委員

まず2月は外国人観光客のほうがほぼゼロになりました。

3月に国内のお客さんが結構増えたので、大丈夫かなと思ったけれども、4月に入り緊急事態宣言が発令され、そこから急に県外のお客様が減りました。

4月の半ば過ぎかあたりから、離島含めて地元のお客さんも来ない。公共工事も止まつたので、貨物もほぼ動かないという形で、4月から5月の半ばぐらいまでは、売り上げが急減しました。特に、ゴールデンウィークに関しては、前年に比べると9割減ぐらいです。

今のところ、徐々に6月に入って公共工事も動き出し、地元のお客様も動きだしたとのことで、徐々に徐々に回復はしてきているのですが、観光客が増えた場合どのような影響が出てくるか警戒はしています。

山内委員

幸い感染者が出なかった。ですので、休業要請求められることがなかったので、幾らかの経済活動はできたということは、それが少しは助けになったのかなと思います。

もし、これで止められていたらもう大変でしたね。それこそ賃金の話として払える状況ではない。

柴田委員

実際、僕が担当としている会社さんが石垣にもありますて、給料の話でいうと、会社のほうも厳しい状況ではあるけども、とりあえず休業させながら、給料を下げているとか減額をしているところは今のところはないですね。

ただ一つ気がかりなのは、学校も先生たちを含め、学生たちがこのコロナの影響で、来年の就職を非常に心配されていて、例えば、本来であれば、琉球海運さんであれば、毎年定期的に採用をやっていて、来年どうなるのだろうとか。

企業者側からすると、コロナの影響を考えて、来年の採用が下向きになる感じなのもしょうがないのかなと思うのですけど、やっぱり船員さんの船員不足がまだ続くと思っているので、なるべく、就職に影響が出なければいいかなと思っているところです。

山内委員

やっぱり、どの船会社も収益悪化は100パーセントの会社が出たと思うのです。それで、持続化給付金という前年の同月で50パーセント以下に落ちたら、法人なら200万円、個人なら100万円支給しますよという制度があるのですけど。50パーセントっていいたら、対象者が限定されてしまうのではないかと。これを20パーセントとか、30パーセントぐらいだったら、もっと多くの人に、この持続化給付金が支給されるだろうなと。

そこら辺の要請というのはできないものか。会社を守ることは雇用を守ることにつながるし、船員たちも生活を守ることになりますから、ここは海員組合の皆さんも要請したほうがいいのかと思います。

宮里部会長

それと、無利子無担保の貸付制度ですね。それをしない手はないですよ。

山内委員

それも借金ですからね。借金でしたら、先行きが見えない中でまた借りてするのかというと、相当な勇気がいるのですよ。経営する側は、慎重にやらないとどうなるかわからない。

宮里部会長

今までの利息ついていた借金と差し替えるのも。

山内委員

もうちょっとハードル低くしてもらえたなら、本当助かるなという会社いっぱいあると思います。

宮里部会長

飛行機が全然飛ばなくて荷物も運べないというので、船舶のほうにいっているのかと思ったら、やっぱり、船舶でも貨物も少なかったのですか。

宮城委員

影響はあります。貨物というのは、沖縄は96パーセントぐらい海上ですから。エアーで運んでいるのは少ないですよ。季節柄チャーターしている、例えば花きとかマンゴーとか。これだけ減便されると、影響は大きいですよね。季節物を市場に送るのは。

一応船舶にシフトしているものもあるのです。例えば、マンゴーですけど、これは冷凍コンテナでテストを2回ぐらいしたけど、一切変わらないです。そのまま鮮度が変わらない。

山内委員

冷凍できるのですか。

宮城委員

できます。今年からそれを始めます。ですから、生産者は安心して、従来どおり生産できる環境を整えています。

海からも輸送できるということであれば、農家の選択肢も増えるし、そういう意味では、このコロナ禍の結果うまれた、良いことの一つ、メリットの一つかなと思います。

柴田委員

宮城委員のところもそうですし、山内委員のところもそうですけど、物流と魚を取る職員もいて、桃原委員の離島の生活航路もそうですけど感染者も無くですね。

例えば、船に感染者が一人出ましたとなれば、恐らく物流にかなり影響を与えたでしょう。スーパーのところに食料品も並ばなく、魚も無くなる。桃原委員のところだったら、生活の足も全く無くなる。

医療従事者とかが、すごくスポットがあたっていますけれど、安心してステイホームできているのも皆様方のおかげかなと思っています。

山内委員

泊市場に関しては、公設市場が5月に感染者が出て閉めましたよね。あのニュースを聞いて対策を練った。幸い今のところ感染者は出ていません。ですので、市場を閉鎖するというのはないんですけど、市場というのは生産者だけが依存しているのではなくて、どちらかと言えば、流通者のほうが主体なのです。

彼らが一番困りました。買った魚を本土のお客さんに出荷しているのですけども、彼らの買った6割は県外のスーパーとかいろいろなお客さんに売っていますから、物流が止まったことで行き場がなくなっちゃって。

生でしょ。船で運んだら、日にちかかるから駄目なのです。そのあたり飛行機じゃないと駄目だといって。非常に、彼らが困窮極まりましたね。ですので、ひやひやしましたね。

宮里部会長

マグロなんか半額ぐらいになってしまった。

山内委員

コロナの影響も大きかったのですけれども、話題から外れるのですがクロマグロの資源管理。あれで追い打ちがかけられて、今はもう放流、放流ですよ。

最終集計はまだとてないですけど、6月いっぱいには出るのですけど、5月の10日あたりで、那覇地区漁協のクロマグロを狙っている船が大体11隻いるのですけども、11隻で131本ぐらい放流しました。ですので、6月いっぱいになると、どれだけ放流するのかということで、資源管理をやっているか、資源の無駄遣いをやっているか、訳が分からんようなことをさせられて。

それによってコロナで収益が悪化して、さらに、追い打ちをかけられて、この資源管理で収入が減って。ダブルパンチもいいところですよ。これから第2波が来たら、今後恐らく倒産する船いっぱい出てくるじゃないか。そのぐらい危機感を持っています。

柴田委員

沖縄総合事務局のほうでコロナ対策に対する助成や補助など教えてほしい。

事務局（宮良調整官）

知らないところというのではないと思いますけど、そういう助成の制度というか仕組みができれば、当然国交省としてもオープンにし、ぜひ活用してくださいというスタンスです。

事務局（玉城課長補佐）

地域公共交通における感染拡大防止対策ということで、あくまで旅客船事業者（定期航路・生活航路）を対象とした令和2年度の2次補正予算がとられています。

柴田委員

沖縄水産高校でやっている就職体験ですが規模を小さくしてでもいろいろ工夫しながらでもやってほしいなというのは思っています。

事務局（宮良調整官）

コロナ対策を講じつつ、例年どおりには多分いかないと思いますけ

ども規模を縮小するなど、全くストップじゃなくて、何かしらの形でやっていくことは、準備を進めているところです。

宮里部会長

御意見が出たと思いますので、事務局から御連絡をよろしくお願ひいたします。

事務局（安慶田係長）

7月の船員部会は、8月16日（木）に5階聴聞室兼会議室で11時00分より開催いたします。

後日、改めて案内の文書を送付いたします。出席できない場合は事前に事務局まで御連絡をお願いします。

今回の議事録は作成次第メールで照会させていただきますので、御確認よろしくお願ひします。

なお、令和2年10月の委員の任期の満了に伴い、委員委嘱の手続が必要になってきますので、再任をお願いしている委員の皆様にはお手数おかけしますが、よろしくお願ひいたします。

以上です。

宮里部会長

では、皆さん御苦労様でした。

以上をもちまして、本日の部会はこれで終了したいと思います。